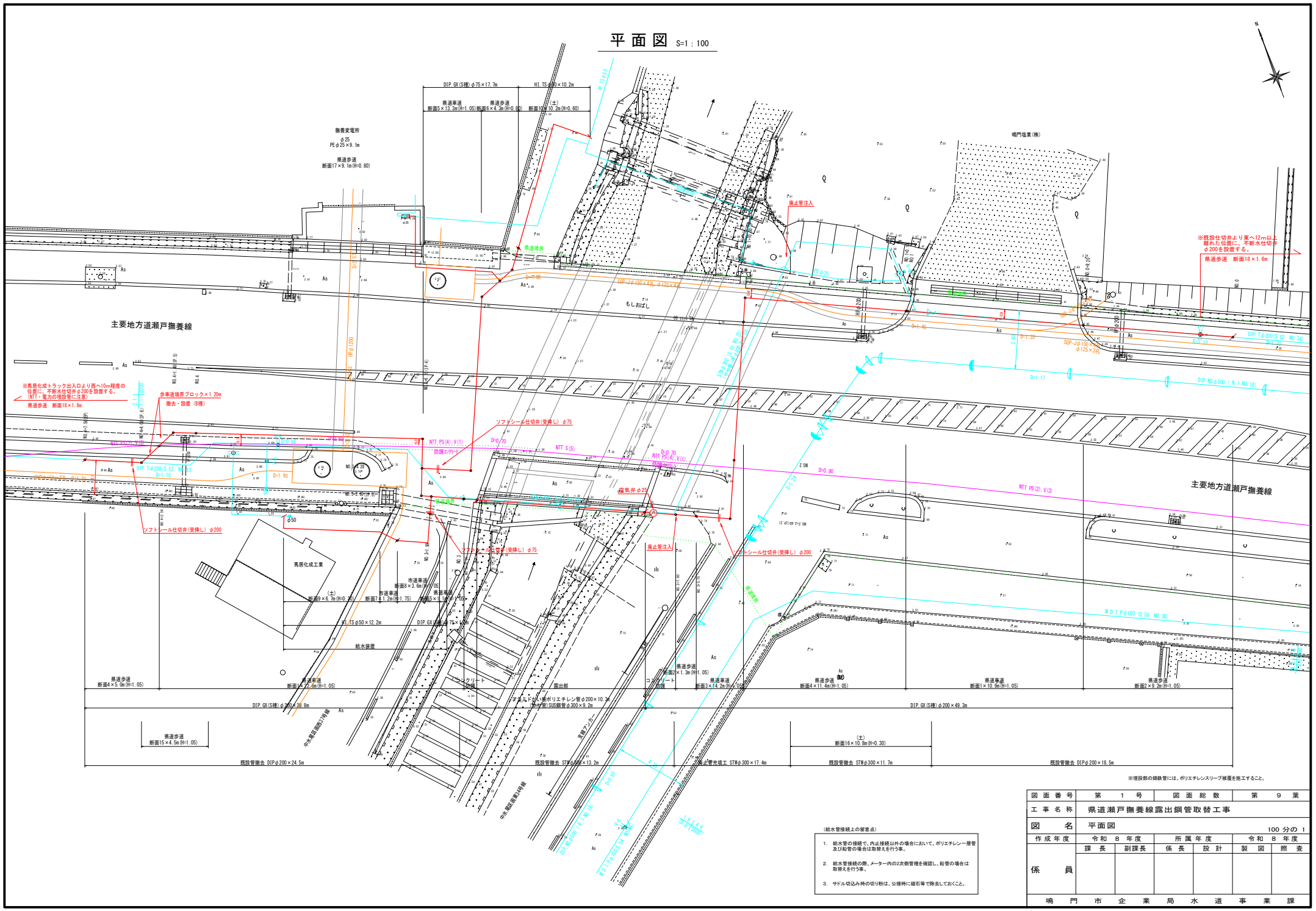


位置図-県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事



この位置図は国土地理院地図を加工して作成しています。

平面図 S=1:100



※埋設部の継ぎ目には、ポリエチレンテープ巻目を施工すること。

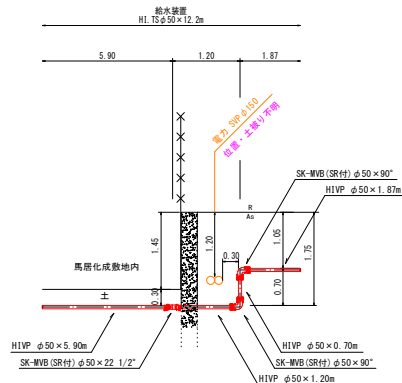
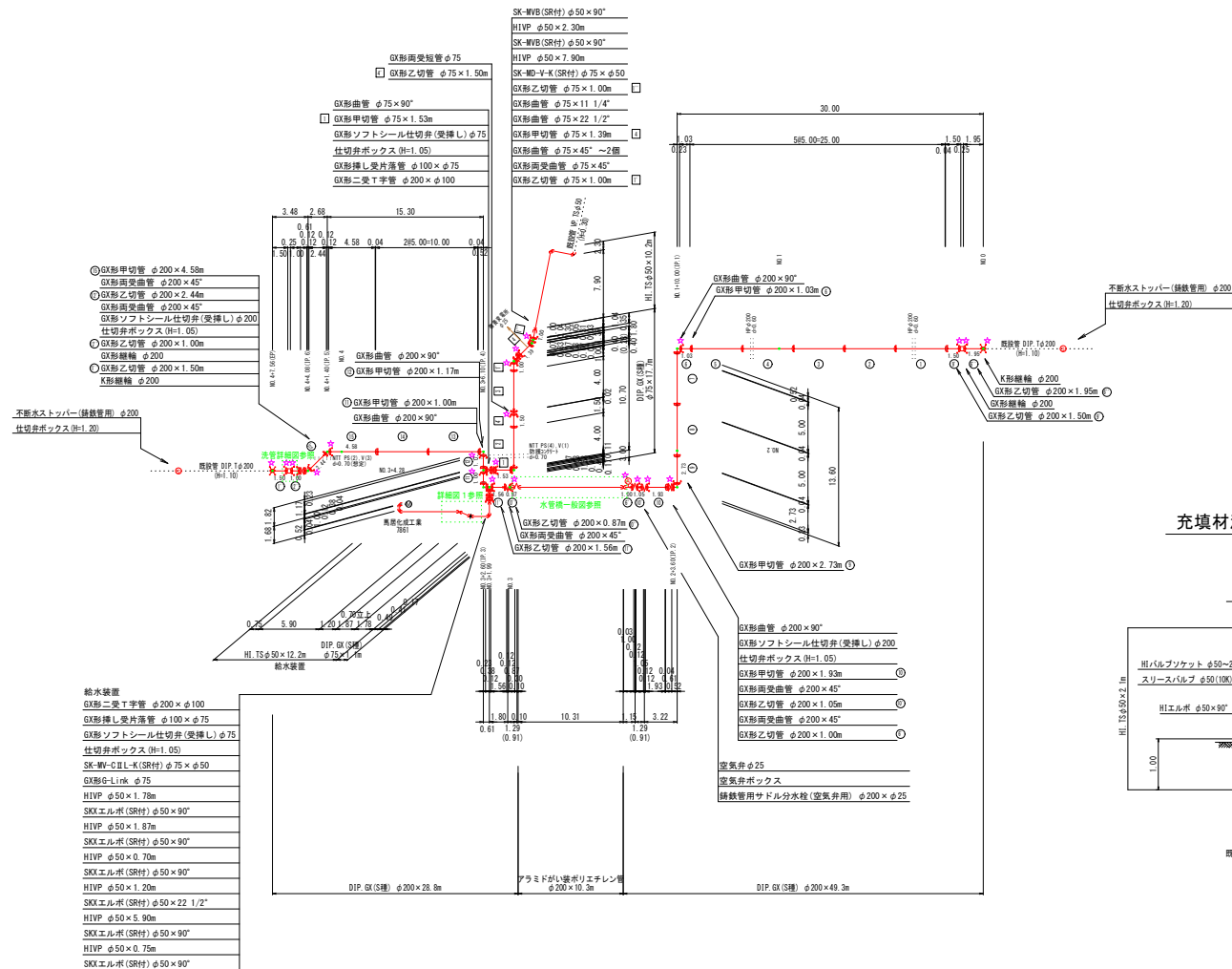
- (給水管接続上の留意点)
1. 給水管の接続で、内止継ぎ目以外の場合において、ポリエチレンテープ巻目及び給管の場合は取替えを行う事。
 2. 給水管接続の際、メーター内の2次管管種を確認し、給管の場合は取替えを行う事。
 3. サドル切込み時の切り粉は、合流時に磁石等で除去しておくこと。

図面番号	第 1 号		図面総数		第 9 葉	
工 事 名 称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事					
図 名	平面図				100 分の 1	
作成年度	令和 8 年度		所 属 年 度		令和 8 年度	
	課 長	副課長	係 長	設 計	製 図	照 査
係 員						
鳴 門 市 企 業 局 水 道 事 業 課						

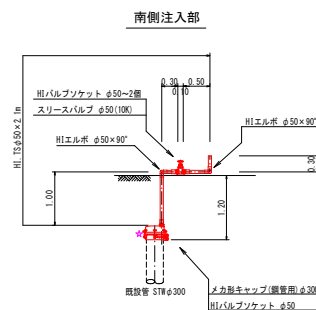
管径 (標準寸)	φ200・(H=1.0)	φ175・(H=1.0)	φ150・(H=0.8)
名称			
水平面管 45°以下	1.0m	1.0m	1.0m
水平面管 45°～90°以下	4.0m	1.0m	1.0m
水平下管 (三方向通過)	1.0m	1.0m	1.0m
管壁・仕切部等	7.0m (3.5m)	2.5m (4.5m)	4.0m (5.5m)

注：1 管首の管口と管口の間の必要一体化長さ(必要一体化長さ)は異なる。
2 必要一体化長さ(必要一体化長さ)は管径が150mm以下の場合に異なる。
3 必要一体化長さは、標準管径の長さとは異なる。
4 標準管径では管首の両側面一体化とを標準管径とする。
5 150mm以下の管径では、必要一体化長さは標準管径の長さとは異なる。

詳細図 1 S=1:50

[illegible]

充填材注入配管詳細図 S=1:50



名 称	管径・(設置高)	φ25・(H=500)
鉄 蓋 100H (KRS-1G-10L)		1
上下部壁 200AC (MHR-1-200AC)		1
底 版 40S (MHR-1-40S 1/2)		1

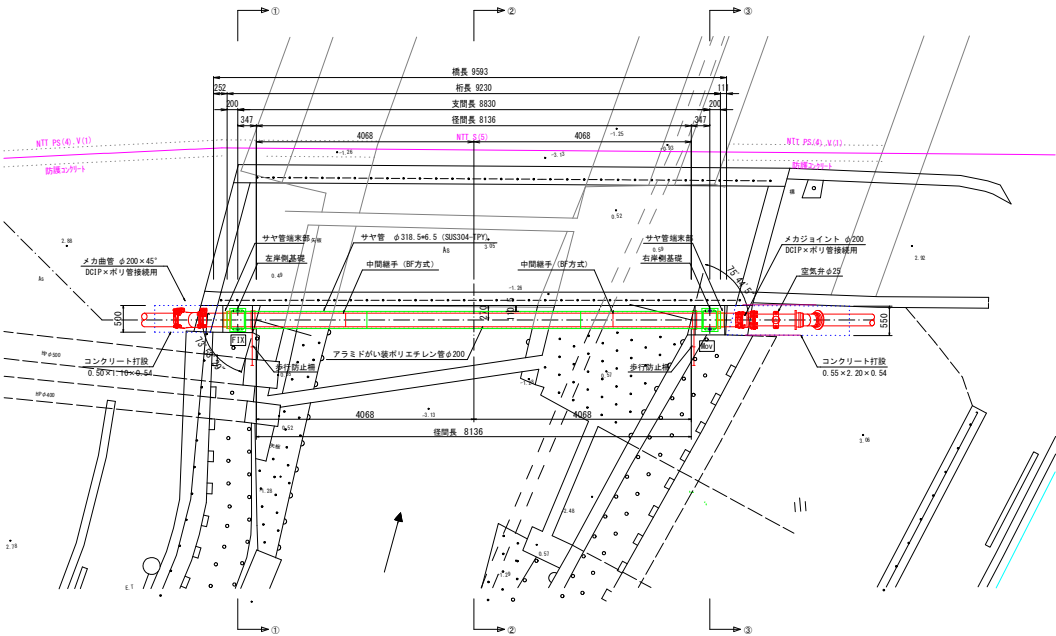
名 称	管径・(設置高)	φ200 (H=1.05)	φ75 (H=1.05)	不燃性ストッパーφ250 (H=1.20)
鉄蓋 150H (CVGS-21G-15L)		2	2	2
上部壁 150A (MWK-25-150A NYS)		2	2	2
中部壁 200B (MWV-25-200B)		2		
中部壁 300B (MWV-25-300B)			2	2
下部壁 300C (MWV-25-300C)		2	2	2
底板 60S (MWV-25-60S)		2	2	2

圖面番 号	第 2 号	圖面總 数	第 9 葉
工 事 名 称	泉道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事		
因 名	管割因・詳細因		
作成年度	令和 8 年度	所属年度	令和 8 年度
	課 長	副課長	係 長
			設 計
			製 図
			照 査
係 員			
鳴 門 市 企 業 局 水 道 事 業 課			

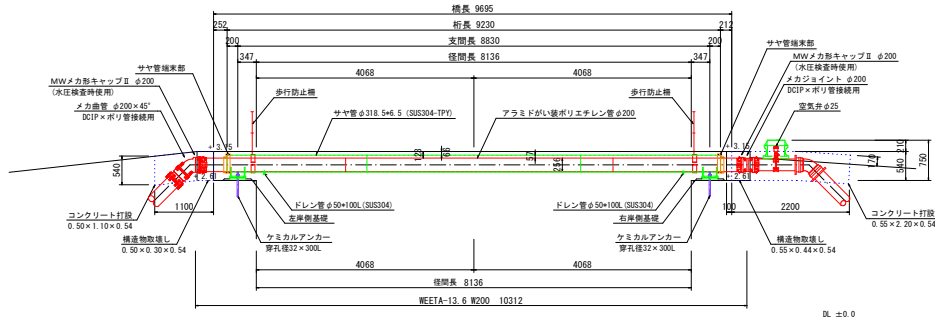


水管橋一般図

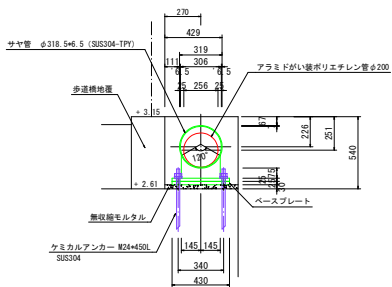
平面図
S=1 : 50



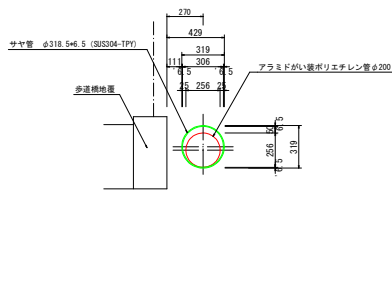
正面図
S=1 : 50



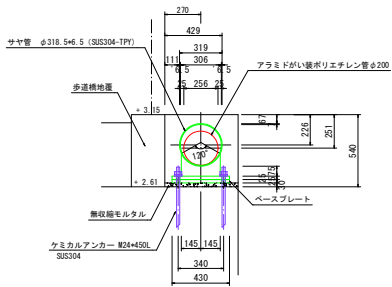
断面図①-①
S=1 : 20



断面図②-②
S=1 : 20



断面図③-③
S=1 : 20



土工数量表(合計)

種別	規格	単位	数量	数式
コンクリート取壊	無筋構造物	m ³	0.21	0.50×0.38×0.54+0.55×0.44×0.54
コンクリート打設	C24=18N/m ²	m ³	0.95	0.50×1.10×0.54+0.55×2.20×0.54
型枠	無筋構造物	m ²	4.70	(0.50×1.10+0.54×2.20)×2.20×0.54×2
無収縮モルタル		m ³	0.02	0.50×0.50×0.50+0.50×0.50×0.50

図面番号	第 3 号		図面総数		第 9 葉	
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事					
図名	水管橋一般図				図示	
作成年度	令和 8 年度		所属年度		令和 8 年度	
	課長	副課長	係長	設計	製図	照査
係員						
鳴門市企業局水道事業課						

【注 記】
(1)特記なき材質は、SUS304相当とする。

水管橋詳細図 1

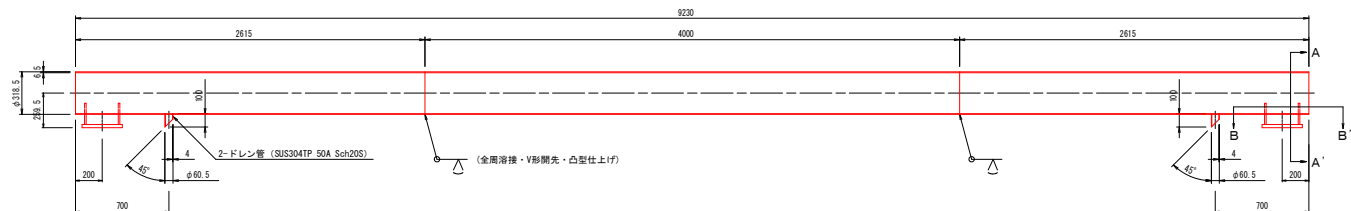
サヤ管 詳細図 S=1:20

(SUS304 300A Sch20S)

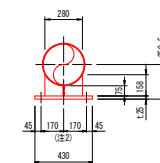
材質: SUS304 数量: 1組

重量: 9.23m×50.5kg/m=466.1kg

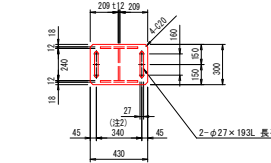
0.14m×4.97kg/m=0.7kg



A-A'断面 S=1:20



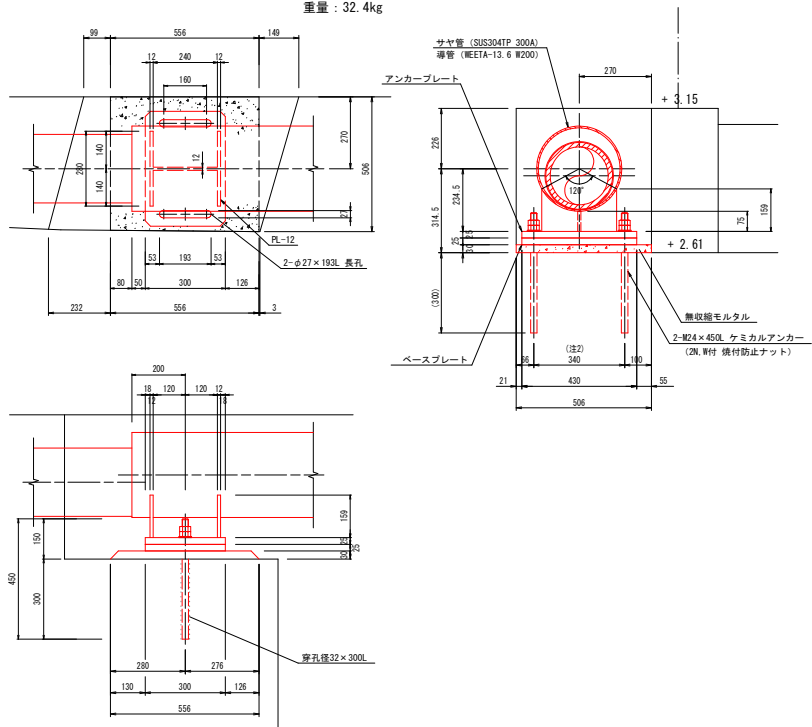
B-B'断面 S=1:20



左岸側基礎 詳細図 S=1:10

材質: SUS304 数量: 1組

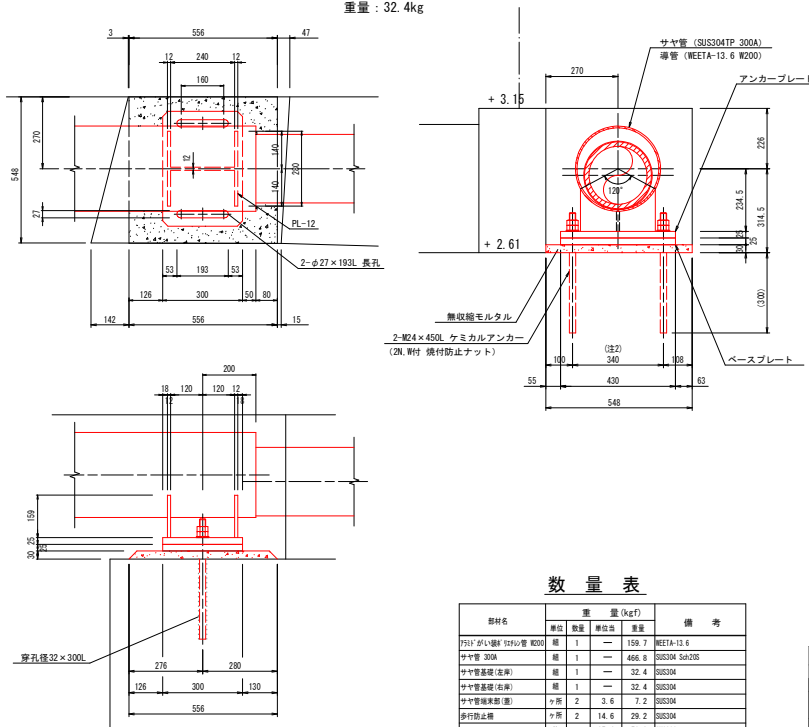
重量: 32.4kg



右岸側基礎 詳細図 S=1:10

材質: SUS304 数量: 1組

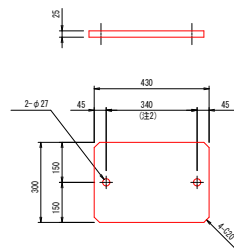
重量: 32.4kg



ベースプレート 詳細図 S=1:10

材質: SUS304 数量: 2枚

重量: 25.4kg/枚



注 記

- サヤ管のキャンバーは、ポリエチレン管を挿入する為無しとする。
- 鉄筋探査によってアンカーボルトの位置を確定した後、アンカープレート・ベースプレートの寸法を修正し、製作すること。
- 特記なき材質は、SUS304相当とする。

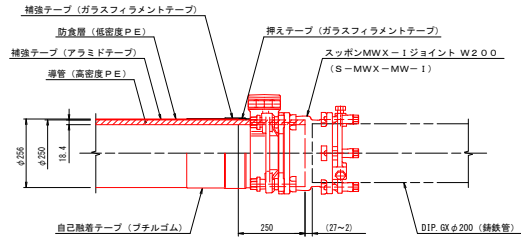
数 量 表

部材名	単位	数量	重量 (kg)	備 考
7311'φ114mm×11mm管 R200	組	1	159.7	NEETA-13.6
サヤ管 300A	組	1	466.8	SUS304 Sch20S
サヤ管差込 (左側)	組	1	32.4	SUS304
サヤ管差込 (右側)	組	1	32.4	SUS304
サヤ管差込 (両側)	組	2	3.6	SUS304
多行固定金具	ヶ所	2	14.6	29.2 SUS304
ベースプレート	枚	2	25.4	50.8 SUS304
アンカー B-N 2φ450L	本	4	—	SUS304
穴開 B-N W1640L	個	4	—	SUS304
計			778.5	

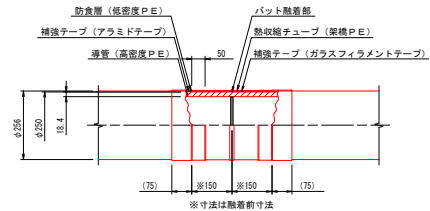
図面番号	第 4 号		図面総数	第 9 葉	
工 事 名 称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事				
図 名	水管橋詳細図 1				
作成年度	令和 8 年度		所属年度	令和 8 年度	図 示
係 員	課 長	副課長	係 長	設 計	製 図
					照 査
鳴 門 市 企 業 局 水 道 事 業 課					

水管橋詳細図 2

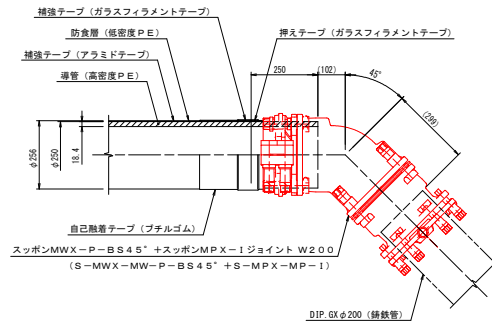
メカジョイント詳細図 S=1/10
(WEETA-13.6 W200) 数量: 1ヶ所



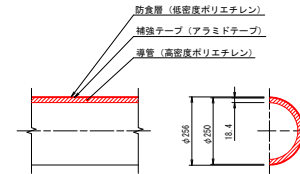
中間継手 (BF方式) 詳細図 S=1/10
(WEETA-13.6 W200) 数量: 2ヶ所



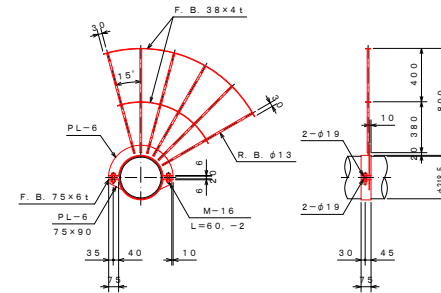
メカ曲管詳細図 S=1/10
(WEETA-13.6 W200) 数量: 1ヶ所



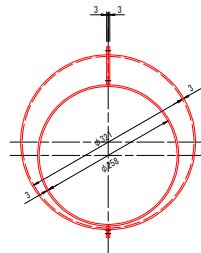
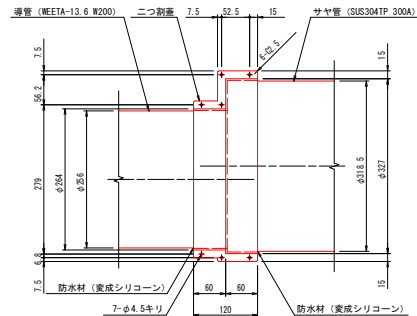
パイプ構造図 S=1/10
(WEETA-13.6 W200)



歩行防止柵 S=1/20
材質: SUS304 数量: 2ヶ所
重量: 14.6kg/ヶ所

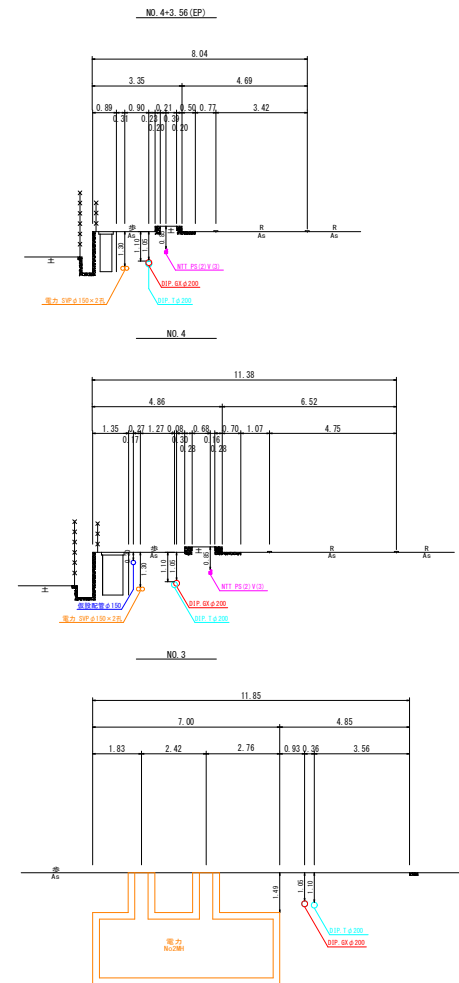
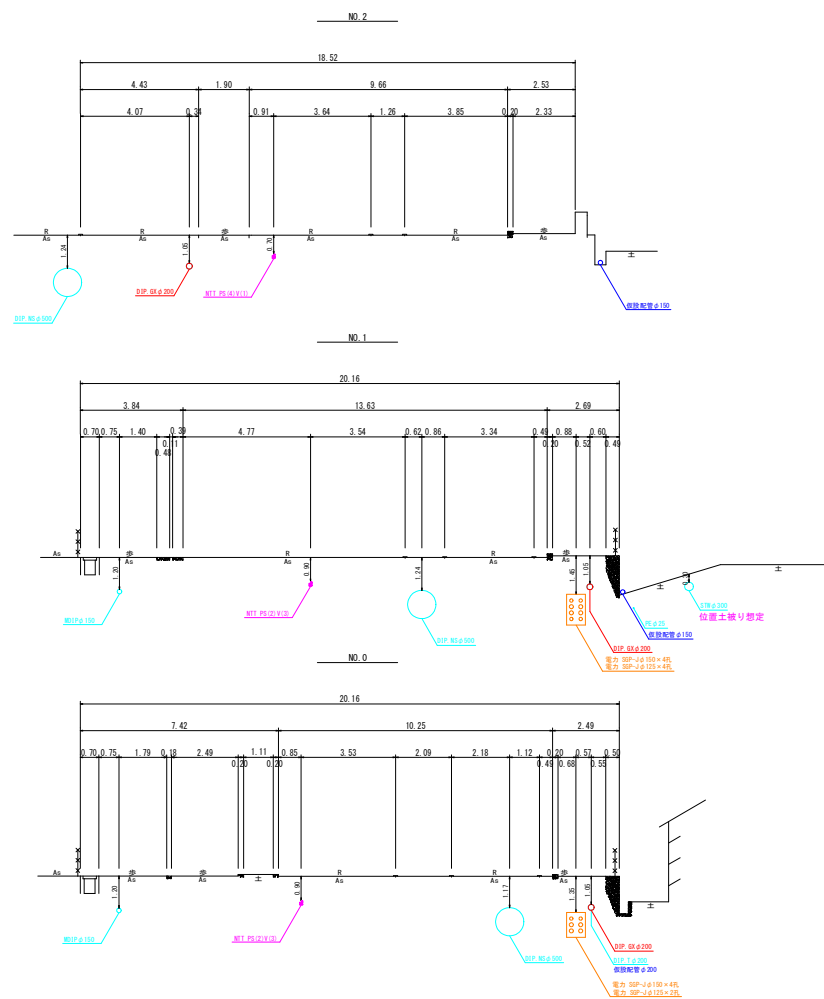


サヤ管端部 詳細図 S=1/5
(SUS304 300A Sch5S/WEET-13.6W200)
材質: SUS304 数量: 2ヶ所
重量: 3.6kg/ヶ所



図面番号	第 5 号	図面総数	第 9 葉
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事		
図名	水管橋詳細図2		
作成年度	令和 8 年度	所属年度	令和 8 年度
課長	副課長	係長	設計
製図	照査		
係員			
鳴門市企業局水道事業課			

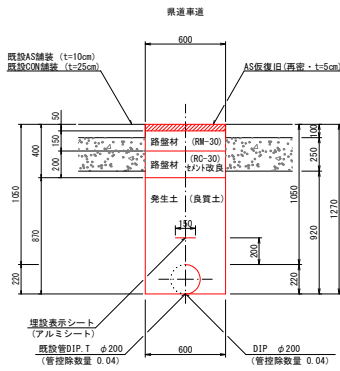
横断面図 S=1:100



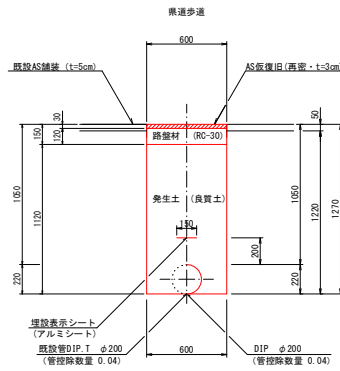
図面番号	第 6 号	図面総数	第 9 葉
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事		
図名	横断面図		
作成年度	令和 8 年度	所属年度	令和 8 年度
係員	課長	副課長	係長 設計 製図 照査
鳴門市企業局水道事業課			

掘削標準断面図（1/2）S=1:20

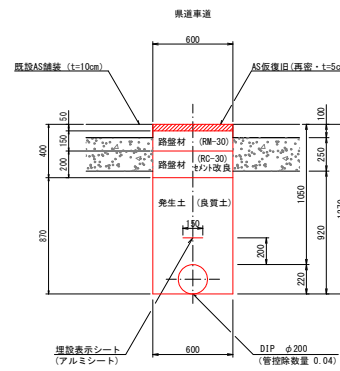
断面 1



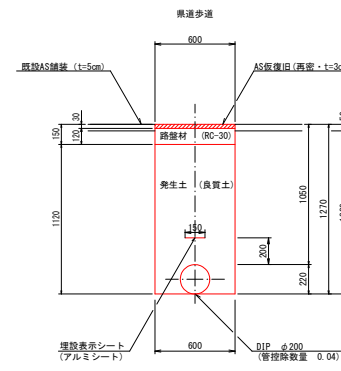
断面 2



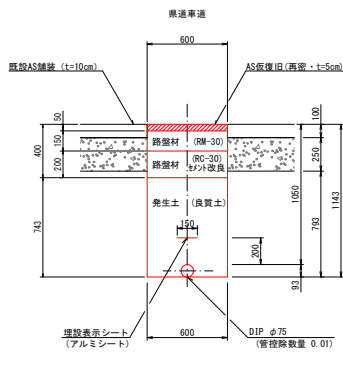
断面 3



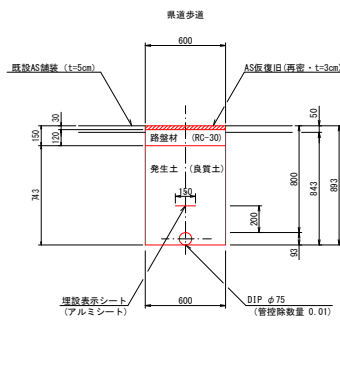
断面 4



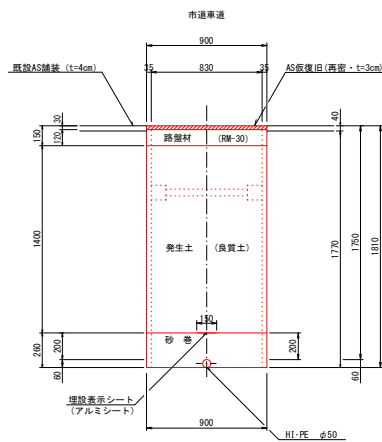
断面 5



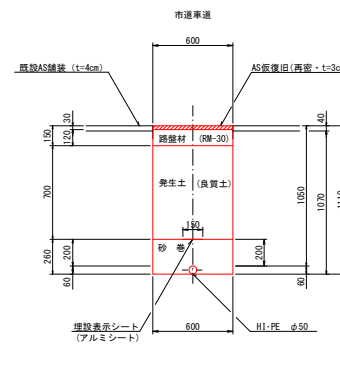
断面 6



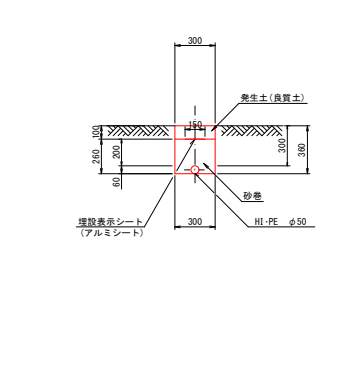
断面 7



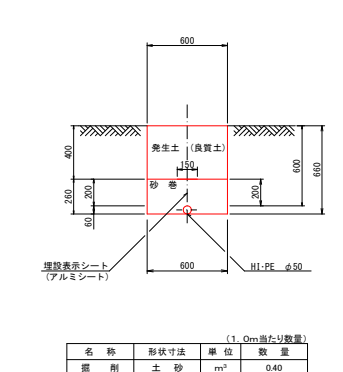
断面 8



断面 9



断面 10



断面 11



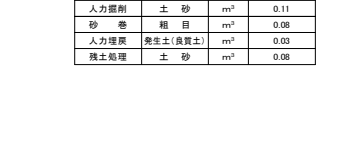
断面 12



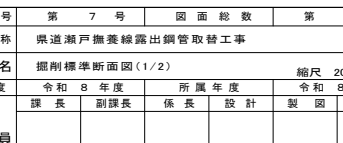
断面 13



断面 14



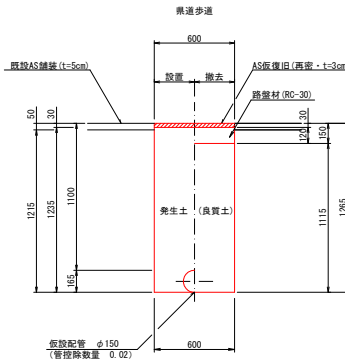
断面 15



図面番号	第 7 号	図面総数	第 9 葉
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事		
図名	掘削標準断面図 (1/2)		
作成年度	令和 8 年度	所属年度	令和 8 年度
課長	副課長	係長	設計
製図	照査		
関係			
鳴門市企業局水道事業課			

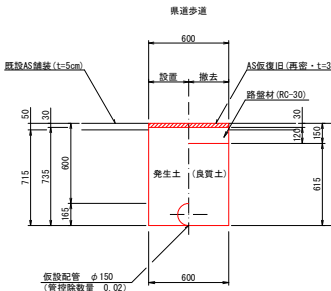
掘削標準断面図 (2/2) S=1:20

断面 1 1



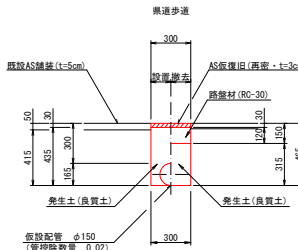
		(1.0m相当内訳)		
名 称	形状寸法	単 位	数 量	数 量 内 訳 設 置 搬 入
舗装切断	AS・15×5cm	m	2.00	2.00 -
舗装削削	AS	m ²	1.20	0.60 0.60
掘 削	土 砂	m ³	1.45	0.73 0.72
埋 戻	発生土(良質土)	m ³	1.39	0.72 0.67
路 盤	RC・30×12cm	m ²	0.60	- 0.60
残土処理	土 砂	m ³	0.06	0.01 0.05
残材処理	A S 設	m ³	0.05	0.03 0.02
AS仮面(歩道)	再舗・13×3cm	m ²	1.20	0.60 0.60

断面 1 2



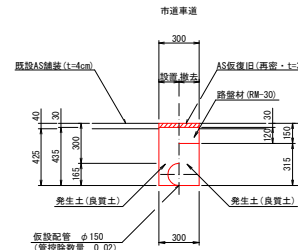
(1.0m当り数量)					
名 称	形状寸法	単位	数量	設置	搬入
舗装切斷	AS-1.5×5cm	m	2.00	2.00	-
舗装剤	AS	m ²	1.20	0.60	0.60
照 射	土 砂	m ³	0.85	0.43	0.42
埋 戻	発生土(良質土)	m ³	0.79	0.42	0.37
路盤	RC-30.1×12cm	m ²	0.60	-	0.60
土砂処理	土 砂	m ³	0.66	0.01	0.05
木材処理	A S 設	m ³	0.05	0.03	0.02
AS底面(砂)歩道	再砕 土3cm	m ²	1.20	0.60	0.60

断面 1 3



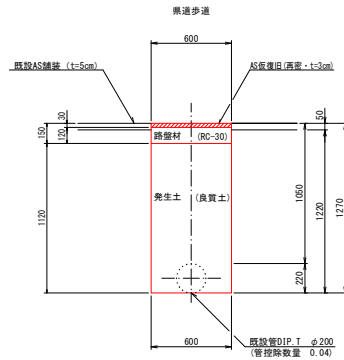
				(1.0m当り内数量)		
名 称	形状寸法	单 位	数 量	数 量 内 訳		
				設 置	撤 去	
舗装切断	AS 1.5×5cm	m	2.00	2.00	-	
舗装撤削	AS	m ²	0.60	0.30	0.30	
掘 削	土 砂	m ³	0.23	0.12	0.11	
埋 戻	養生土(良質土)	m ³	0.20	0.11	0.09	
路盤	RC-30.1×12cm	m ²	0.30	-	0.30	
砂土処理	土 砂	m ³	0.03	0.01	0.02	
残材処理	A S 砕	m ³	0.03	0.02	0.01	
AS板取(歩道)	再砕 3×3cm	m ²	0.60	0.30	0.30	

断面 1 4



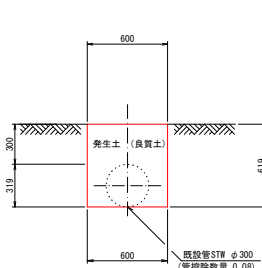
(1.0m当り内訳)				
名 称	形状寸法	単 位	数 量	数 量 内 訳 設 置 撤 去
舗装切断	AS・T146cm	m	2.00	2.00 -
舗装削削	AS	m ²	0.60	0.30 0.30
掘 削	土 砂	m ³	0.24	0.13 0.11
埋 戻	発生土(良質土)	m ³	0.20	0.11 0.09
路 盤	RM-30・T12cm	m ²	0.30	- 0.30
残土処理	土 砂	m ³	0.04	0.02 0.02
残灰処理	A 設 除	m ²	0.02	0.01 0.01
AS仮復旧	再密・T3cm	m ²	0.60	0.30 0.30

断面 1 5



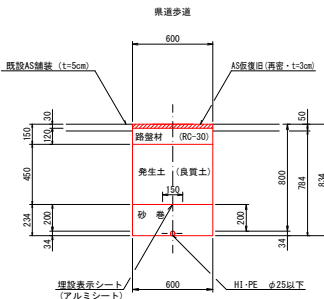
名称	形状寸法	単位	数量
舗装切断	AS・t=5cm	m	2.00
舗装掘削	AS	m ²	0.60
掘 削	土 砂	m ³	0.69
埋 戻	養生土(良質土)	m ³	0.87
路 盤	RC-30・t=12cm	m ²	0.60
残土処理	土 砂	m ³	0.02
残材処理	A 土 砂	m ³	0.03
AS仮復旧(歩道)	再磨 t=3cm	m ²	0.60

断面 1 6



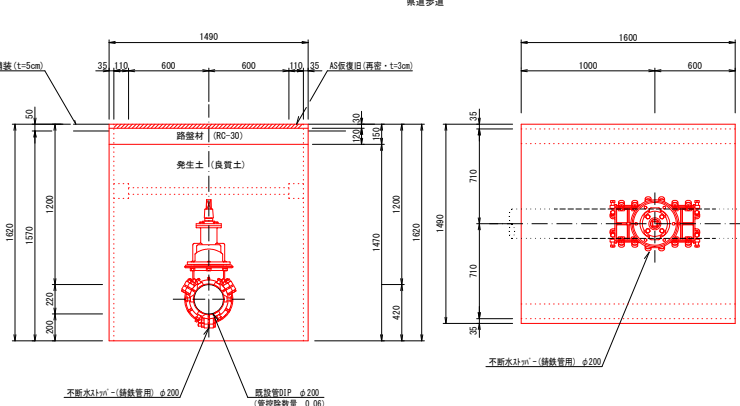
名 称	形状寸法	単 位	数 量
掘 削	土 砂	m ³	0.29
埋 戻	発生土(良質土)	m ³	0.37
残土留理	土 砂	m ³	-

断面 1 7



(1.0m当り数量)			
名 称	形状寸法	単 位	数 量
鋪装切斷	AS・t=5cm	m	2.00
鋪装掘削	AS	m ²	0.60
掘 削	土 砂	m ³	0.47
砂 巻	粗 目	m ³	0.14
埋 戻	免生土(良質土)	m ³	0.27
路 盤	RC-30・t=12cm	m ²	0.60
残土処理	土 砂	m ³	0.23
残材処理	AS 砂	m ²	0.00
AS厚床(歩道)	5cm・t=3cm	m ²	0.60

断面 1 :



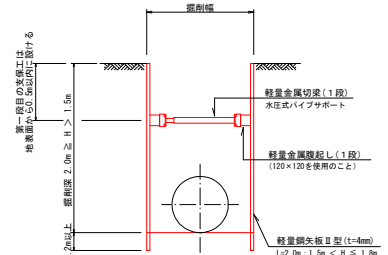
名称	形状寸法	単位	数量
舗装切断	AS・t=5cm	m	6.18
舗装掘削	AS	m ²	2.38
掘 削 土 砂		m ³	3.68
埋 戻 発生土(良質土)		m ³	3.44
路 盤 RC・30・t=12cm		m ²	2.38
残土処理 土 砂		m ³	0.24
残材処理 A S 級		m ³	0.12
AS仮硬(歩道)	再密 t=3cm	m ²	1.38
土留工	(面積)2.0m以下		2.60

土留工標準図 S=1:30

(参考図面)

軽量鋼矢板たて込み

(輕量鋼矢板Ⅱ型+輕量金屬支保)



- ・掘削深が1.5mを超える場合は土留工を施すこと。
- ・土留工は建込み方式で施工すること。
- ・一定の深さまで掘削機械により溝掘削を行い、軽量鋼矢板を建て込んだ後所定の深さまで押し込み、地中から専用の治具を使用して最上段の取返し及び切りばりを取り出し、土留の保工を順次立上ること。
- ・土留工は軽量鋼矢板に替えて、アルミ矢板の場合はパネル式土留を使用してもよい。
- ・舗装復旧前から、舗装地までの幅が1.2m以上の場合は舗装地まで打替えること。

圖面番号	第 8 号	図面総数	第 9 葉
工事名称	県道瀬戸無養線露出鋼管取替工事		
図名	掘削標準断面図(2/2)・留工標準図		縮尺 20 分の 1
作成年度	令和 8 年度	所属年度	令和 8 年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市企業局水道事業課			

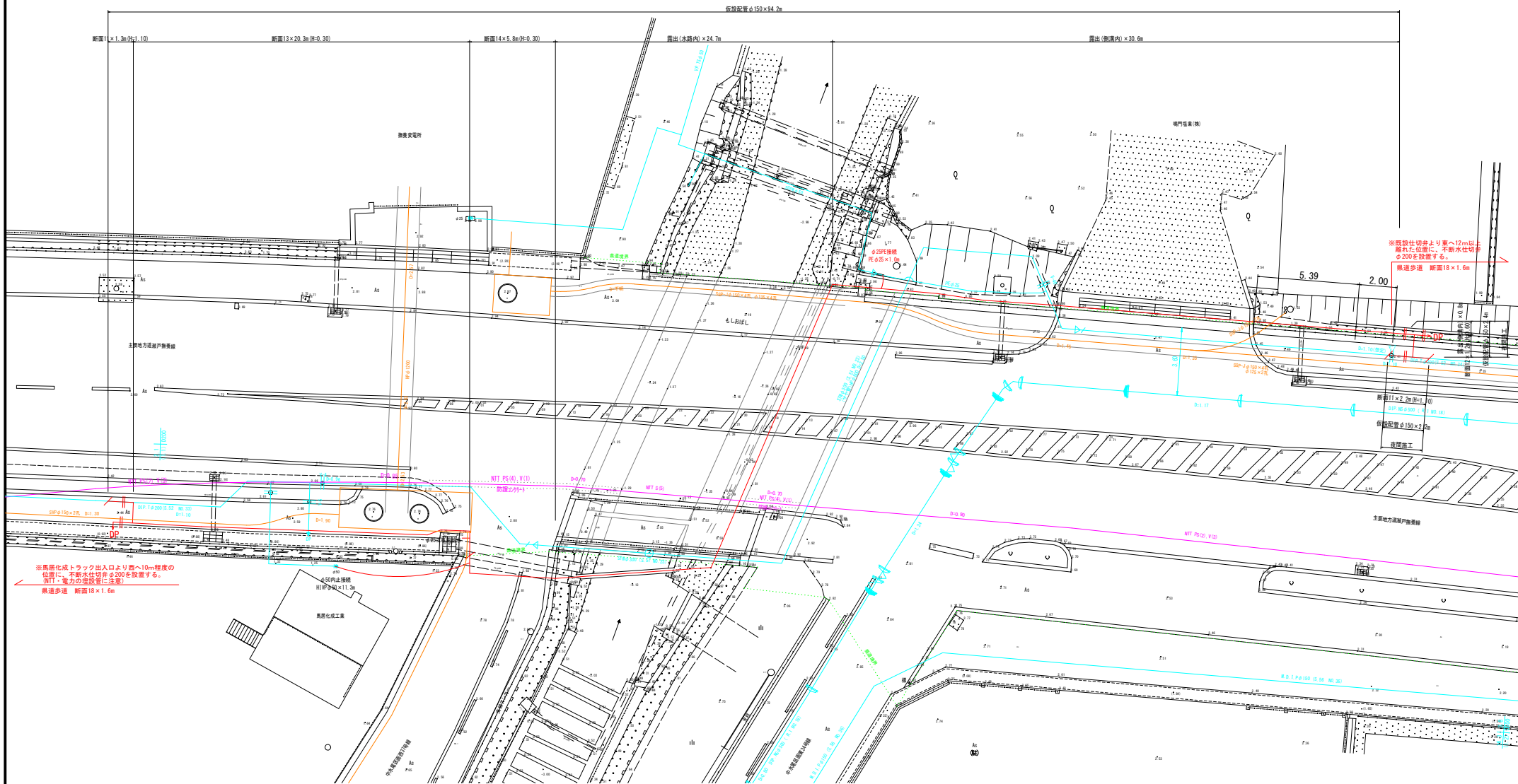
S=1 : 250



凡 例	名 称
舗装断面 1	粗・密粒 $t=10\text{cm}$ 、不陸整正(県道車道)
舗装断面 2	密粒 $t=5\text{cm}$ 、不陸整正(県道歩道)
舗装断面 3	密粒 $t=4\text{cm}$ 、不陸整正(市道車道)

図面番号	第 9 号	図面総数	第 9 案
工事名称	県道瀬戸推養線露出鋼管代替工事		
図名	舗装復旧平面図 250 分の 1		
作成年度	令和 8 年度	所属年度	令和 8 年度
係員	課長	副課長	係長
			設計
			製図
			照査
鳴門市企業局水道事業課			

仮設平面図 S=1:100



※馬居化成トラック出入口より西へ10m程度の位置に、不漏水仕切弁φ200を設置する。
(MT+電力の増設等に注意)
県道歩道 断面18×1.6m

※既設仕切弁より東へ12m以上離れた位置に、不漏水仕切弁φ200を設置する。
県道歩道 断面18×1.6m

注記

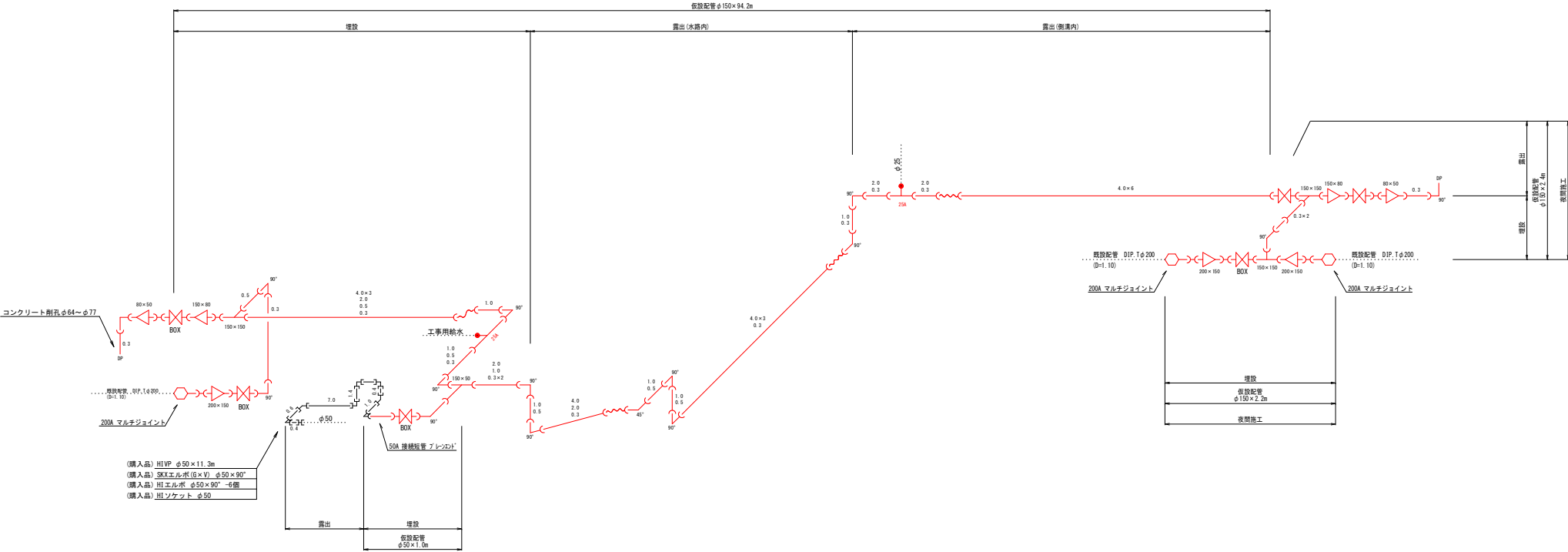
※既設管への接続に先だって、下記の対応を行う事。

- (1) 西側不漏水仕切弁設置
馬居化成トラック出入口より西へ10m程度の位置に、不漏水仕切弁φ200を設置する。
- (2) 東側不漏水仕切弁設置
既設仕切弁より東へ12m以上離れた位置に、不漏水仕切弁φ200を設置する。

図面番号	参考図第1号	図面総数	第4葉
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事		
図名	(参考) 仮設平面図		
作成年度	令和8年度	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市企業局水道事業課			

仮設配管図 S=FREE

資 材 表 記 一 覧			
資 材 名 称	記 号	資 材 名 称	記 号
直 管		レジュューサー	
フ レ キ 管		取 り 出 し 短 管	
エルボ		仮 設 消 火 栓	
チ ー ズ			
バ ル ブ		仮 設 空 気 弁	
受 け × 受 け			
受 け × グ ル ー ビ ン グ、リ ン グ		撤 去 用 直 管	
挿 し × グ ル ー ビ ン グ、リ ン グ		挿 し × 挿 し	



(購入品) HVP φ50×11.3m
(購入品) SKエルボ (6×V) φ50×90°
(購入品) Hエルボ φ50×90°-6個
(購入品) Hソケット φ50

50A 接続板管 プレセント

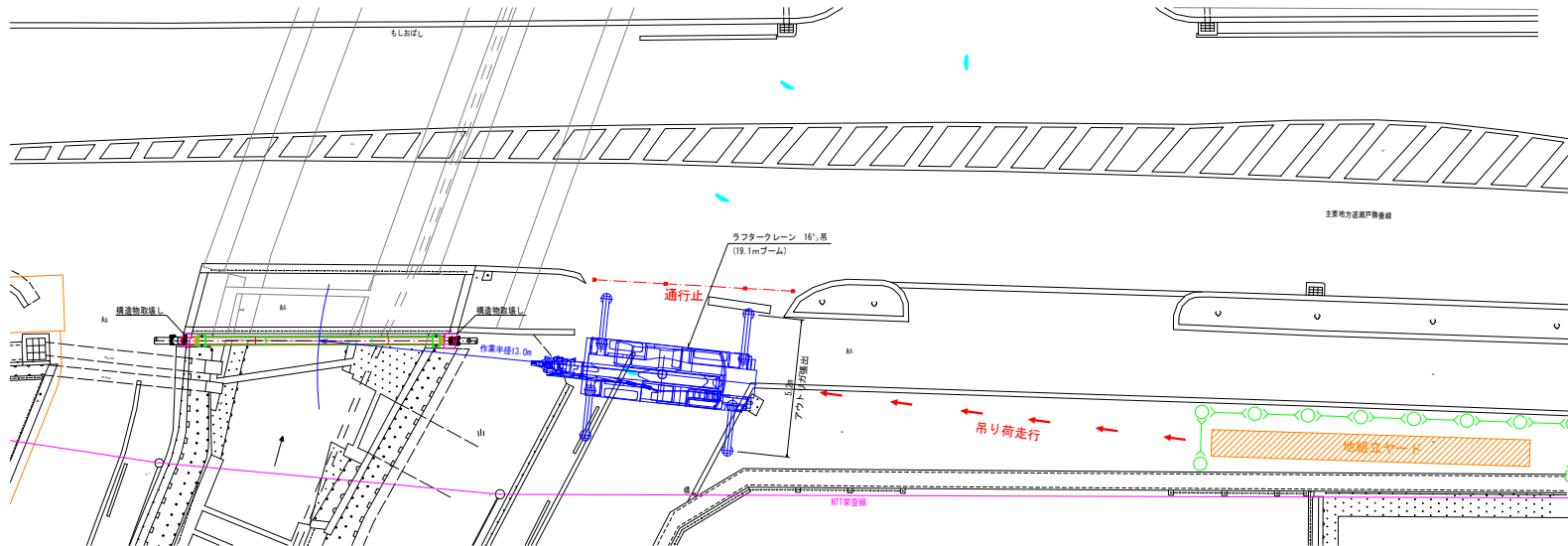
既設配管 DIP 1φ200 (D=1.10)
200A マルチジョイント
BOX
200A マルチジョイント
既設配管 DIP 1φ200 (D=1.10)

埋設
仮設配管 φ150×2.2m
夜間施工

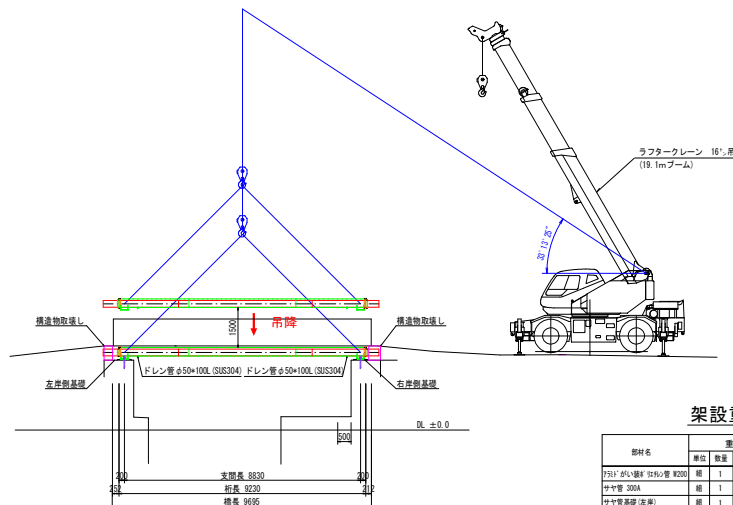
図面番号	参考図第 2 号	図面総数	第 4 葉			
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事					
図名	(参考) 仮設配管図 Free					
作成年度	令和 8 年度	所属年度	令和 8 年度			
係員	課長	副課長	係長	設計	製図	照査
鳴門市企業局水道事業課						

(参考) 水管橋架設要領図

平面図 S=1:100



正面図 S=1:100



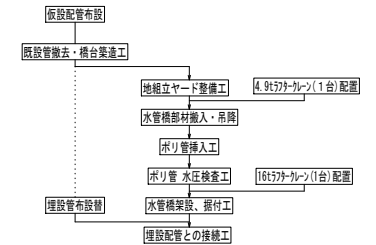
架設重量表

部材名	単位	数量	重量 (kg)	備考
パイプ 200A (200A) 管 R200	本	1	150.0	NE1A-13.6
サヤ管 200A	本	1	466.0	SS0304 Ss203
サヤ管基礎 (左側)	本	1	32.4	SS0304
サヤ管基礎 (右側)	本	1	32.4	SS0304
サヤ管結束部 (左)	ヶ所	2	3.6	SS0304
サヤ管結束部 (右)	ヶ所	2	3.6	SS0304
計			698.5	

作業要領、安全対策

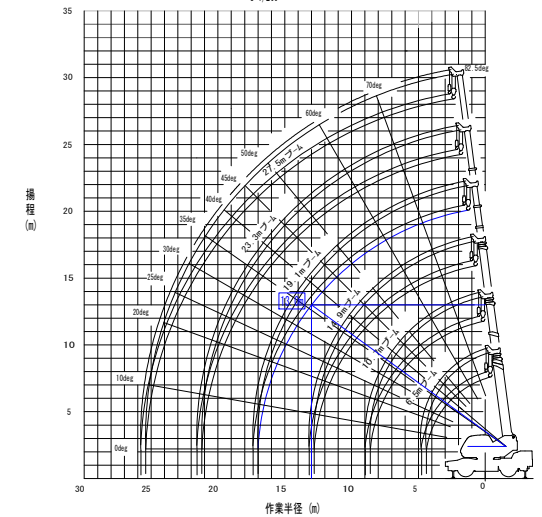
- (1) 地組立作業ヤードは、市道部は架空電線を横越する吊込作業が不可欠であることより、県道歩道部 (幅員5.8m) に設置する。
- (2) 地組立作業ヤードへの搬管の吊込作業は、4.9t57タークレンとする。
- 搬管吊荷重: 搬管 0.466t
フック質量 0.200t
計 0.666t
- ラフタークレーン吊能力 (4.9t)
条件: 12.70m²-4、77t吊 - 張出幅 (4.75m)、全周吊
1. 作業半径: 10m
2. 吊能力: 1.85t (別紙-定格総荷重表参照) ≧ 吊荷重 0.666t ⇒ OK
- (3) 架設作業時の移動・吊込作業は、16t57タークレンとする。
- 水管橋吊荷重: 水管橋 0.699t
フック質量 0.200t
計 0.899t
- ラフタークレーン吊能力 (16t)
アウトリガ使用時条件: 19.1m²-4、77t吊 - 張出幅 (5.2m)、全周吊
1. 作業半径: 13m
2. 吊能力: 2.05t (別紙-定格総荷重表参照) ≧ 吊荷重 0.899t ⇒ OK
- 車両走行時条件: 1.6km/h以下、19.1m²-4、前方吊
1. 作業半径: 10m
2. 吊能力: 1.10t (別紙-定格総荷重表参照) ≧ 吊荷重 0.899t ⇒ OK
- (4) 水路東側市道の通行車両は、東西市道方面に迂回・誘導する。
環状橋南側歩道部を通行する歩行者は、環状橋北側歩道部及び南側市道部への迂回、誘導する。
- (5) 架設作業中は、ガードマンを配置し通行車両及び行人の安全確保に努める。
- (6) 作業に当たっては、近接する電線ケーブルを損傷しないよう、各事業者とケーブル保護及び工事立会の要否等必要な対策・協議を実施すること。
- (7) 工事が関与する周辺住民、企業に対しては、着工前にビラ等配布し、工事の周知徹底を図る。

作業手順



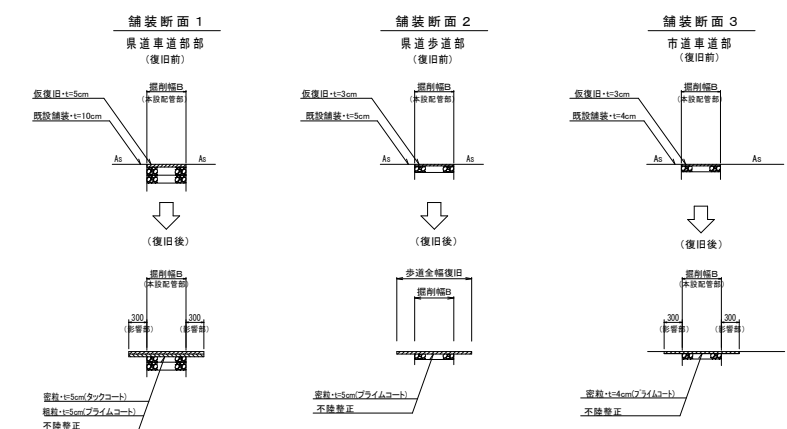
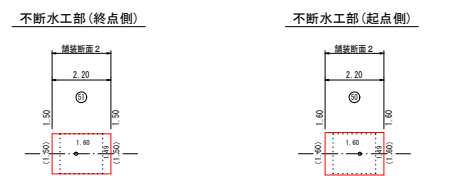
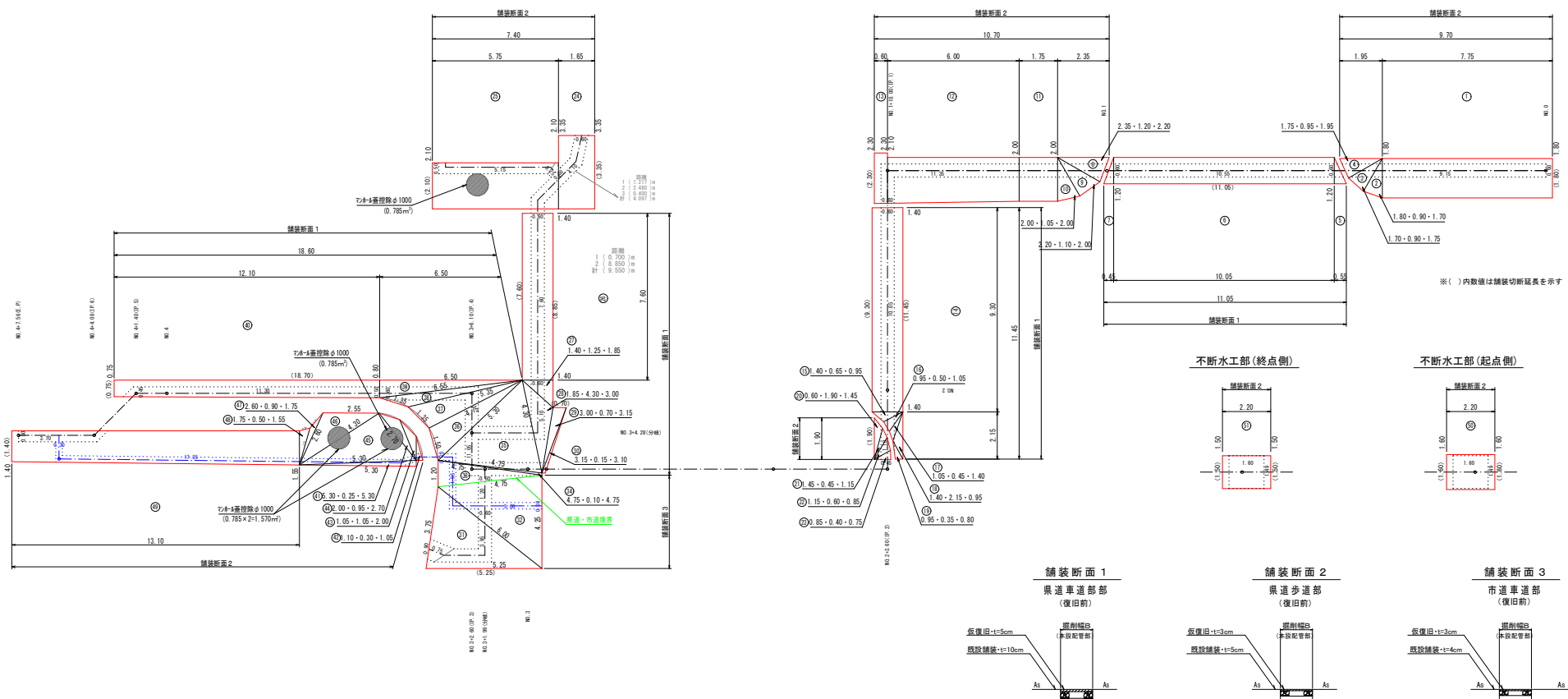
16t57タークレン作業範囲図

S=1/200



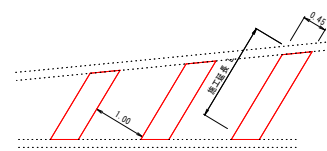
図面番号	参考図第 3 号		図面総数	第 4 葉	
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事				
図名	(参考) 水管橋架設要領図				
作成年度	令和 8 年度	所属年度		令和 8 年度	図示
係員	課長	副課長	係長	設計	製図 照査
鳴門市企業局水道事業課					

舗装復旧展開図 S=1 : 100



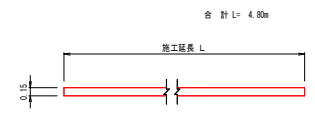
安全地帯 (白線・W=45cm)

○県道 No.1+16.20付近
○県道 No.3付近
施工延長 L= 1.10× 1= 1.10m
施工延長 L= 0.20× 1= 0.80m
合 計 L= 1.90m



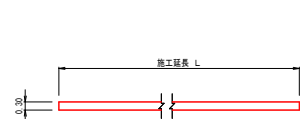
安全地帯路側線 (白線・W=15cm)

○県道 No.1+16.20付近
○県道 No.3付近
施工延長 L= 1.20× 2= 2.40m
施工延長 L= 1.20× 2= 2.40m
合 計 L= 4.80m



外側線 (白線・W=15cm)

○県道 No.3+10.50 ~ No.4+2.40付近
○市道 No.3付近
施工延長 L= 12.10m
施工延長 L= 4.40m
合 計 L= 16.50m



区画線数量集計表

区画線	種 別	規 格	面 積 (㎡)	巾15cm換算 施工実長 (m)	施工箇所数 (力所)	施工延長 (m)	合 計 (m)	改 め
指示表示	安全地帯	W=45cm・白線				1.90	1.90	2
その他表示	安全地帯路側線	W=15cm・白線				4.80	21.30	21
	外側線	W=15cm・白線				16.50		

※ 掘削幅から施工目地までの
の距離が1.2m以内の場合は
全面復旧します

図面番号	参考図第 4 号		図面総数	第 4 葉	
工事名称	県道瀬戸撫養線露出鋼管取替工事				
図名	(参考) 舗装復旧展開図				
作成年度	令和 8 年度		所属年度	令和 8 年度	
係員	課長	副課長	係長	設計	製図 照査
鳴門市企業局水道事業課					